

第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

イベント名	第1回アジア・太平洋水サミット日本伝統芸術祭
主催者	江藤明齋
開催日	2007年12月 <input checked="" type="checkbox"/> 1日 <input checked="" type="checkbox"/> 2日 <input type="checkbox"/> 3日 <input type="checkbox"/> 4日 <input type="checkbox"/> 5日
開催時間	12/1 13:00～17:00、12/2 9:00～12:00
開催場所	<input checked="" type="checkbox"/> 別府市内 <input type="checkbox"/> 大分県内 <input type="checkbox"/> その他
会場名	別府ビーコンプラザ・臨時会議室1・オープンイベントコンテナホール1
参加人数	1名（主催者1名－スタッフ2名、専属カメラマン3名）

開催概要（900字以内）

このたびは第1回アジア・太平洋水サミットオープンイベントに出場させていただき誠に有難うございます。「書」という芸術を深く学習した人は少ないと思いますが、古典においての書をもとに現代の書というものは構築されていて、その現代書道の中を特に注目されているのが調和体（漢字仮名交じり文）と言われています。今サミットでの優先テーマであるA.水インフラと人材育成、B.水関連災害管理、C.発展と生態系のための水という3つの優先テーマを基本に前述した調和体で作品を造っていきます。台風や津波等の水災害、災害後の各種インフラ整備、雨水、海水、排水の再利用、理想の水作りのプロジェクトといった水を中心とした社会が発展していくためには、どうあるべきか？どう動くべきか、どう研究すべきか、どう製造すべきか、など色々と考える時間がいくらあっても足りませんが、そのような中で諸問題を抱えた「水」と日本の伝統芸術である「書」との関係性を今1度見直して「書」においての水の大切さ、水成分に対する衛生さの探求、水（墨）という物質に対する芸術的美の追求を今後の書美術の世界において論題とすると共に「書道」という芸術を通して「水」というものの豊かさ、美しさ、光あふれる生命力を描き続けていきたいと思っております。本日、披露致しますのは「書」の古典（classic & formality）、近代から現代（modern、avant-garde）、また未来へ向かった展望（rising new and the future）を、水をテーマにアジア・太平洋地域の平和を願って書表現させていただきます。何卒、御高覧下さいますよう宜しく御願ひ申し上げます。

明齋書道会 師範 江藤明齋



第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

日本水フォーラムに期待すること（600字以内）

公式関連イベント・オープンイベントでも言ってきたことですが、水の雑菌の除去率を100%カットできる浄水装置の開発とステンレス水道管の早期開発をお願いしたいと思います。また、温暖化対策ではCO2削減という事ですので大気中の有毒ガス除去率100%カットのフィルターと工場、自動車等の排煙フィルターの早期開発をお願いしたいと思います。それで出来た理想の水というものが完成すれば都会から地方までの水問題が解決すると思われま。温暖化問題も同様に考えられるでしょう。（古くなった排水、排煙フィルターはコンクリートで固めて埋め立て地にする→地方を都会かという考え方が例）。これらの問題を解決するにあたりまず、1）日本水フォーラムが完成品を早期開発、2）開発した後、東京と別府で浄水場内だけでも試験的に実施、3）全国的に実施、4）世界特許は日本水フォーラム所有、5）第5～第10回までの世界水フォーラムで、第6回、8回、10回で3段階に分けて、排水、排煙フィルターを発表。記念すべき第10回で完成品（12年後位）を発表。6）各国象徴に販売して利益にする。7）第10回以降、10年かけて世界各国に浸透させるのが目標、まで簡単に考えました。実現化するまでにはすぐには出来ないと思いますが、出来ることを基本に考えて、後は機械装置とフィルターの形とサイズを製造という事を考えていければ、解決するのではと思っております。何卒宜しく御願ひします。

その他（オープンイベントを開催した感想、今後の予定など、600字以内）

当日まで寝る間もなく、オープンイベントに向かって走ってきました。「書」の古典より近代～現代、未来へ向かっての展望とアジア・太平洋地域と世界の平和を願って水をテーマに書道芸術表現致しました。「書」の古典においては温泉銘という別府にふさわしい古典があるということを知ってもらった事、近代から現代の書表現は空の青さから水の青さの美しさの芸術表現、皇室の方との思い出を水を下文に表現し、特に自然美を詠ったものを皆さんに理解していただけたと思っておりますし、アジア・太平洋地域と全世界の未来へ向かっての展望と平和を願っての現代性を認識していただけたと思っております。'97、中国北京での世界大会出場、'02日韓共催の世界大会出場、'06日中書道交流大会出場と数々の舞台を踏んできましたが、やはりこの第1回アジア・太平洋水サミットは格別の思いの残るオープンイベントでした。何しろ第1回目であったから私の後に道は出来ると言った感じで勇ましい印象はするのですが、不安はつきもので、自分で納得するまでには本当はもう少し時間が必要な事だと思っております。諸問題がたくさんあるアジア・太平洋地域の水事情ですが、これからの未来をより素晴らしいものにして行きたいと心に強く思った。全世界の人々の平和と輝く私たちの明日を願ってー。

※今後の予定ー今サミットで揮毫したものと同じ内容のものを揮毫します。フォーラムまで連絡してください。

